

議 事 録

議 題	令和2年度東京都電設協会との意見交換会	
日 時	令和2年11月17日(水)15:00～17:00	
場 所	都庁第二本庁舎13階局議室	
出 席 者	一般社団法人 東京都電設協会	5名
	東京都住宅政策本部	7名
配布資料	遠隔施工管理のイメージ図・装置構成図	
議 事 内 容		
1. 挨拶・自己紹介 2. 意見交換会の主な内容 (1) 建設業の働き方改革について ア 女性技術者の活用 【東京都電設協会】 ・建築系と違い、大手でも電気工事関係に女性は少ない。中小に至ってはもっと少ない。いる場合も親族ということが多い。 《東京都》 ・女性技術者が少ない問題の本質はどこにあると考えるか。現場のイメージはどうか。 【東京都電設協会】 ・女性にとって、建築やインテリア等のデザイン系の仕事は人気があるが、電気工事の現場は人気がない。 ・重い資材や工具を担ぐ必要があり、女性に現場仕事は体力的に辛いものがある。 ・10月に日本武道館にて技能大会が開催されたが、出場者42人中女性は1人だけであった。 《東京都》 ・体力的な負担の少ない、製図担当などの事務的な仕事での活用はどうか。 【東京都電設協会】 ・現場を知らなければ、施工図を描くのは困難である。 《東京都》 ・女性技術者の活用に必要なことは何か。 【東京都電設協会】 ・建設業界は女性でも高給であるという強みがある。ただし、本人が給与面以外にもやりがいを見出さなければ辞めてしまう。 ・協会で実施している積算の講習会では、女性の参加者が多かった。そういう仕事で活躍してもらうこともできるのではないか。 ・職業訓練校にはCAD科があり、そこには女性の学生が非常に多かった。 ・会社としては、雇用するからには長く勤務して欲しい。 イ 若手技術者の活用及び技術者の高齢化 【東京都電設協会】		

・今年はコロナの影響で大手の求人が減っており、中小企業にとってはチャンスである。

《東京都》

・新卒の技術者が一人前になるには、どれくらいの期間が必要か。

【東京都電設協会】

・人それぞれではあるが、概ね高卒で5年、大卒で3年程度である。

・建設業は、工作上必要な資格の取得要件である「実務経験」が長い。仕事は出来ても、実務経験が足りないために資格の取得が出来ず、1人で現場を任せることが出来ないこともある。

《東京都》

・若手技術者の育成に都営住宅の工事を生かすことはできるか。

【東京都電設協会】

・都営住宅はパターン化されており、一つの現場に様々な工種が含まれているので、若手の育成に向いている。

《東京都》

・ベテラン技術者は、最近のICT技術に対応しているか。

【東京都電設協会】

・CADの普及を契機として比較的スムーズに対応しており、タブレット等も活用している。

・現場には若手とベテランのペアで従事させたい。

《東京都》

・タブレットは現場でどのように活用しているか。

【東京都電設協会】

・事務所との連絡、建電機の図面を保存・共有するなどして、現場での確認に活用している。

ウ 週休 2 日モデル工事

【東京都電設協会】

・都営住宅工事は比較的週休 2 日に対応し易いと考えるので、すべての工事を週休 2 日モデル工事にしたい。

・これまでの工期算定と違いはあるか。

《東京都》

・週休 2 日モデル工事は、日本建設業連合会の建築工事適正工期算定プログラムを準用し、従来の工期設定よりも行政検査の日程などを考慮した余裕のある工期設定となっている。建設業界として若手の採用がし易くなるよう、土日に休めることを目標としている。

【東京都電設協会】

・週休 2 日モデル工事の工期は、具体的に従来工事よりどのくらい長くなっているのか。

《東京都》

・工事の規模や条件にもよるが、60日程度長くなっている。

【東京都電設協会】

・主体建築工事が概成工期を含め全体工期を守ることが出来れば、設備工事も週休2日を実現できる。

・着工した時点からの徹底した工程管理が必要と考える。

・まずは「土日は休む」という意識改革が必要と考える。

《東京都》

- ・建築、設備の両方の監督員には、週休 2 日モデル工事以外の工事においても週 5 日作業が原則で、土曜日の作業は例外的に認められるものであるという指導を行っている。
- ・週休 2 日工事は収入が減るため、職人の手配に影響するということも耳にするが、電気工事において影響はあるか。

【東京都電設協会】

- ・あると思うが、まずは週休 2 日を進めていかないと改革できない。今は過渡期にあると考えている。
- ・公共工事で実現できなければ、民間工事では絶対に実現しない。

エ 書類削減

【東京都電設協会】

- ・材料搬入報告書の写真については、同じ資材は写真が省略できるものと認識している。

《東京都》

- ・都としては、書類や写真は品質管理上必要最低限なものを要求している。
- ・現在、写真及び押印は更なる削減に向けて検討中であるので、もうしばらく時間を頂きたい。

(2) 遠隔施工管理(遠隔臨場)について

【東京都電設協会】

- ・遠隔施工管理に必要な現場事務所の装置は、受注者側で用意するのか。

《東京都》

- ・試行であるため、最初は都側で用意する。
- ・まずは都の職員が機器の操作に慣れるようにしていく。

【東京都電設協会】

- ・画質や通信環境など、色々と制約が出ると思う。

《東京都》

- ・試行によってそれらの問題点を明らかにしていく。

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響について

《東京都》

- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響はどうか。

【東京都電設協会】

- ・都営住宅に限らず、民間工事も含めて問題はない。現場は元々マスクも手袋も着用して作業しており、作業環境的にも密にならない状況であった。
- ・今年の夏はマスクを着用していたが、注意していたため熱中症の発生は無かった。
- ・現場作業時よりも、車での移動時に3密や濃厚接触となりやすい。

《東京都》

- ・都では「東京都における公共工事の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策ガイドライン」を設けているが、民間ではそういう事例があるか。

【東京都電設協会】

- ・ガイドラインは無いが、現場単位でルールがあり、それを遵守している。

《東京都》

- ・最近の受注状況はどうか。

【東京都電設協会】

- ・発注量は少なくなっているように感じる。
- ・一方で、一時に比べて見積の引き合いは増えているような気がする。
- ・従来どおりの発注になることを望む。